

妃たちのオーダーメイド セーヴル フランス宮廷の磁器

—マダム・ポンパドゥール、マリー＝アントワネット、マリー＝ルイーズの愛した名窯—

会期 2025年10月25日(土)～2026年2月1日(日)

さまざまな陶磁器に焦点を当てた細見美術館「陶磁器に出会う」シリーズ。10回目となる今回は、陶磁器の最高峰「セーヴル」の登場です。

ヨーロッパ諸国が憧れた東洋の白い磁器。18世紀にマイセン窯が初めて焼成に成功しましたが、真に西洋的といえるスタイルを創り出したのは、フランスのブルボン王朝が設立した王立セーヴル磁器製作所でした。この設立にはポンパドゥール侯爵夫人と国王ルイ15世が深く関わり、贅を尽くした華やかなセーヴル磁器がその後もフランス王国、帝国、共和国によって引き継がれ、今日に至ります。

セーヴル磁器は、当時の流行を取り入れた意匠や、華麗で精緻な絵画表現、発色の繊細さを特徴とします。王侯貴族向けの注文生産であったことから現存数も限られていますが、近年、優れたセーヴル磁器のコレクションが日本でも確立されています。

本展は国王ルイ15世からナポレオン帝政時代の作品を中心に、厳選された国内コレクション約140件の名品で構成されています。ポンパドゥール侯爵夫人や王妃マリー＝アントワネットなどが、こよなく愛したセーヴル磁器の魅力をこの機会にぜひご堪能ください。



《青地色絵金彩鳥図皿》 1770年 個人蔵

— 主な出品作品 —



左：《瑠璃地色絵金彩鳥図ティーサービス》 1754-59年 個人蔵



中：《色絵金彩花文台付皿》 1758年 Masa's Collection



右：《色絵金彩花文スープ鉢》 1782年 個人蔵



左：《藍地金彩七宝飾カメオ文カップ&ソーサー》 1784年 個人蔵



中：《臘脂地色絵金彩真珠花文皿》 1784年 Masa's Collection



右：《青地色絵金彩花果文カップ&ソーサー》 1792年 町田市立博物館蔵（河原勝洋コレクション）

— 関連イベント —

第50回 アートキューブレクチャー

「セーヴル — 18世紀の王立磁器製作所物語 —」

※事前申込制



講師：ジョン・ホワイトヘッド氏

美術史家。専門はフランスの18～19世紀の室内装飾および美術工芸。特に、セーヴル磁器に重点を置く。2011年、セーヴル工房およびセーヴル美術館の依頼により、18世紀セーヴル磁器に関する著作を刊行。2010年、芸術分野への貢献が認められ、フランスの「芸術文化勲章（Ordre des Arts et des Lettres）」オフィシエを受章。

日 時：2025年11月6日(木) 午後2時～3時30分(開場:午後1時30分～)

通 訳：塩谷哲夫氏(ロムドシン代表取締役)

会 場：京都市勧業館 みやこめっせ 大会議室

定 員：100名

参加費：2,200円 展覧会チケット付き(会期中有効)



お申込みフォーム

*詳細は[WEBサイト](#)をご覧ください。

— 展覧会概要 —

*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

展覧会名称	妃たちのオーダーメイド「セーヴル フランス宮廷の磁器 —マダム・ボンパドゥール、マリー=アントワネット、マリー=ルイーズの愛した名窯—
会 期	2025年10月25日(土)～2026年2月1日(日)
開 館 時 間	午前10時～午後5時
休 館 日	毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)、年末年始(2025年12月22日(月)～1月5日(月))
入 館 料	一般 2,000円(1,800円) 学生 1,500円 ※()内は前売料金。※前売券は9月25日(木)から10月24日(金)までプレイガイドで販売 【販売窓口】細見美術館(当日券のみ)、ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、CNプレイガイド ●お得な前売ペアチケット 3,400円 一般 2枚組のお得なチケット。1枚ずつでもご利用いただけます。 販売期間：9月25日(木)～10月24日(金) 販売場所：ローソンチケット、イープラス
主 催	細見美術館 京都新聞
後 援	京都市内博物館施設連絡協議会 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ
協 力	町田市立博物館 ロムドシン
企画協力	AsHI
会 場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp



事前予約不要 | 混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。



展覧会資料(画像)・取材をご希望の方は、[ホームページリリースページ](#)
もしくは左記QRコード「[資料・ご取材申込ーム](#)」からお申込みください。

本展連絡先 細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代)
広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

細見美術館